



いぶき 第19号
 発行者 井上 一
 編集 患者サービス向上委員会
 香川県丸亀市城東町3丁目3番1号
 TEL (0877)23-3111
 FAX (0877)24-1147
 季刊誌 年4回発行
<http://www.kagawah.rofuku.go.jp>

香川労災病院は開院50周年



病院長 井上 一

皆さんには、平成18年のお正月、比較的穏やかな迎春であったかと思えます。景気も少しずつ上向いており、そして大きな災害もなかったし、好天にも恵まれて、平穩に過ごされたのではないのでしょうか。

しかし、今年はインフルエンザの大流行が予想されており、他方人口減少の始まりの年となりました。

また、日本海側の超豪雪による被害をみても天変地異ばかりでなく、私どもを取り巻く世界も安穩とはいかないように思います。

ですが、ごなたも健康で安心できる世の中を願っております。とりわけ病氣や怪我はできるだけ早く、いい治療をして欲しいと思うのは当然です。

これまで中讃・西讃の中核病院として係わってまいりました香川労災病院が、今年開院50周年を迎えます。

そうした折に、本院の歴史的背景や今後の展望を紹介してみたいと思います。

香川労災病院は昭和29年に香川県内設置が決まり、翌年に丸亀市に決定しました。

各関連団体や丸亀市の協力のもと、丸亀城そばの旧練兵場跡地3万平方メートルが市から提供され昭和30年に着工し、1年後の昭和31年4月5日診療を開始しました。

萱田静海初代院長のもと、内科・外科・整形外科の3科で4名の医師だったそうです。病床全ては昭和34年に完成し202床の運用となりました。

その後医療機器の整備、けい肺病棟の竣工、診療科の増設が進み、他方勤労者の医療や検診体制も整ってきました。

開院以来30年を経て12診療科354床となりましたが、施設の老朽化、狭隘化から全面的増改築が企画され、丸亀市医師会のご理解も得て40床増床で総数394床となりました。現在の堂々たる香川労災病院は、平成8年9月9日に新館披露となっております。

さらに循環器科、産婦人科、形成外科、歯科口腔外科を新設、開放病床の運営など診療の充実が企てられてきました。



香川労災病院全景

香川労災病院の理念

働く人々や地域の人々に
 安全で安心のより良い
 医療と看護を提供します

今年には医療制度が大きく変わろうとしております。現今、香川労災病院には二つの大きな役割があります。

一つは勤労者医療で、働く人々の健康管理や予防医療ばかりでなく、中讃地区の労働災害における拠点病院としての役割を果たさねばなりません。生活習慣病やメンタルヘルス、最近問題のアスペクト障害についても積極的に診断・治療ばかりでなく、予防や健康指導に取

り組んでおります。他方、がんについては勤労者ばかりでなく地域住民にとっても重大な疾病です。

これに対する総合的で高度の医療を提供することが望まれています。

幸い本院は内科、外科、婦人科、泌尿器科など高い医療を提供できる施設となっており、近く地域がん診療拠点病院の資格取得を目指しております。

もう一つの大きな役割は、地域と密着した医療の推進です。

ご開業の先生方と一緒に、地域完結型の医療をより綿密に、また迅速に実践できるようにいろんな仕組みを構築せねばなりません。

「リンパ浮腫」

リハビリテーション科技師長 多田羅昭二

最近「リンパ浮腫」という言葉をテレビ、新聞、雑誌などで見聞きされたことがあると思います。「リンパ浮腫」は「手足がむくむこと」と思われがちですが、全く同じものではありません。いろいろな原因で全身にむくみは起こります。例えば、心臓、肝臓、腎臓などの内臓に原因があつてむくむ場合、静脈の流れが悪くてむくむ場合、或いは明らかな原因が分からない

場合も見受けられます。「リンパ浮腫」とは、「生まれつきリンパ管がうまく発達していなかったり、手術や、ケガ、放射線治療などでリンパ管が傷つけられた場合などにリンパの輸送が妨げられ、細胞の間に蛋白成分が溜まってむくみを来たした状態」とされています。手術の際にリンパ節を切除した場合、一時的にむくむことがありますが、一ヶ月以内に元に

救急医療も当然365日24時間安心してかかれる病院を目指しております。もちろん、最新の検査機器(MRIやCTなど)も整備し、地域で協同利用していただければと思っております。

当然大災害を想定した教育や訓練も、当院に課せられた大きな課題です。

もちろん、これらの役割を果たすには職員の一層の修練や努力ばかりでなく、財政的基盤もしっかりしたものでなければなりません。

年頭に当たって、次の50年に向けて職員一同の精励と、地域の皆様の温かいご理解とご支援をお願い申し上げます。

勤労者 心の電話相談

働く方々の心のセーフティネット

■相談窓口/ 0877-24-6556
■相談日/月曜日～金曜日(祝日を除く)
■相談時間/14:00～20:00

内臓脂肪にご用心

主任栄養士 奥村 誠子

- 太ってはいないが、おなかだけがぽっこり出ている
- おなかが出ているのにたるみをつまんでもあまり厚みがない
- 下半身より上半身の体形が気になる(太っている)
- へその位置での腹囲が「男性85cm以上」「女性90cm以上」である

肥満はあらゆる生活習慣病の要因になります。体重や体脂肪測定の結果や、外見上の変化を目安に減量に励む方も多いことでしょう。しかし、これらの目安からは減量の必要性のないとされる人でも、体脂肪のつき方によっては注意が必要なのです。それは内臓(腸間膜)に脂肪がつく「内臓脂肪型肥満」です。あなたのおなかにはぽっこりではないかもしれませんが、今回は内臓脂肪について知り、早めの対策で生活習慣病を予防しましょう。

内臓脂肪型肥満の特徴
チエック&チエック
■体重は変わらないがベルトがきつくなってきた

さて、あなたはいくつチェックが過ぎましたか？
内臓脂肪がたまる最大の原因は、過食と運動不足です。例えば、「3食きちんととらずに間食をとる」「夜はお酒を飲みながらつまみを食べる」「野菜が嫌い」「運動はほとんどしない」などの経験はないでしょうか。
内臓脂肪はたまりやすい反面減りやすいという性質があるので、油断すると短期間でたまってしまいますが、食事をうまくコントロールして、毎日適度な運動をしていけば自然に減っていきます。
内臓脂肪型肥満の方の食事
で気をつけたいポイントとは、栄養バランスを考えながら、エネルギーを控え、1日3度の食事をきちんととることで、過度の低エネルギー食はリバウンドを起こしやすいだけでなく、たんぱく質やビタミン、ミネラルが不足する可能性があります。また、散歩、階段の昇り降り、自転車、家事といった毎日の生活の中でまめに体を動かすことを習慣にしましょう。
この春は食事と運動で「内臓スリム」をめざしませんか？

2005年もあとわずかに
なった。大寒波が来て日本列
島が冷蔵庫になったような年
の暮れだが、この日だけは小
春日和の好天で彫刻の建て込
みにはうれしい日和となった。

筑後川の中流、久留米市の
合川北地区の堤防まで田園を
埋め立てて公園が出来上がっ
た。筑後川の清流を背景に彫
刻が置けるうれしさを、この
小春日和の太陽が祝ってくれ
ているようだ。近くにはユメ
タウンや温泉があつて多くの
人が集まつてくる。このリバー
パーク構想は成功だったよう
である。

前日は博多の中洲にあるホ
テルへ泊まつて、久し振りに
夜の中洲を歩いた。さすがに
西日本一の夜の街は元氣であ
る。大きい水槽の中から魚が
招いているように思えて和食
の店に入った。この店は、生
け簀料理、博多活造りで有名
らしい。

関鯖活造りというピラノの文
字が私を招いていた。四国と
九州の間にある豊後水道で捕
れる鯖は、急流のため網が使
えず一本釣りをする。その急
流が魚の身をしめていてとて
も旨いらしい。ここで捕れる
旨い鯖のことを関鯖と呼んで

いる。

当然この関鯖活造りをたのん
だ。やがて大皿に盛られた活造
りが出て来た。この関鯖、体長
が40cm近くもあるうか、その刺
身の盛り付けも見事である。日
本人の美意識がここでも発揮さ
れていた。見て美しく、食して
旨いという日本料理の基本が見
えた。

筑紫次郎



速水史朗 (彫刻家)

そのうち「アラです。」と言っ
て出て来たものを見てびっくり、
15cm×4cm位の白い切り身が皿
に並んでいる。これでしゃぶし
ゃぶをしてネギを巻いて食べる
のだという。ここ博多では「ク
エ」のことを「アラ」と言うの
だそう。漢字で「鱈」と書く。
めっぽう旨い。しゃぶしゃぶの
後、他の切り身や野菜を入れて

切り落とした頭は立ててあつ
て、丸い皿にのった関鯖がとて
も美しい。青みがかった頭と赤
みの強い切り身のコントラスト
も上々。口の中でも豊かな味が
舌を喜ばせる。お酒がどんだん
進む。目で味わい、舌で味わい、
話に花が咲いて、とても楽しい。
こんな食事が体も心も豊かにし
てくれる。

食べる。最後は雑炊ということ
になる。
瀬戸内に住んでいる私は、旨
い魚をたくさん食べていたはず
なのに、関鯖と鯖が今迄の魚で
一番旨かったのには驚いたのだ
から、博多の魚料理はもしかし
て日本一なのかも知れない。こ
の夜は中洲のホテルでぐっすり
眠れた。彫刻の設置が行われる

日が快晴なもの、魚のせいな
のかと思つて嬉しかった。
九州の暴れ川「筑後川」は
有明海にそそいでいるのだが、
面白いことに川の真ん中で福
岡県と佐賀県に分かれている
から、一寸他の川とは違う。
この二つの県の境も川に沿つ
てうねうねと曲がつている。
この日に設置される石彫は、
高さ6m、巾1.3m、奥行1m、
重さ6.5tという花崗岩で出来
ている近年の私の大作である。
そしてこの筑後川にちなんで
「筑紫次郎」とタイトルをつ
けた。この彫刻が設置される
と、今迄少々小さいと思つて
いた公園の空間が広く見え出
したから不思議である。これ
は日本家屋の中のつぼ庭へ自
然石を置くことで、大きい空
間をイメージさせた我々の先
祖の美意識を現代彫刻にも応
用出来た良い例だと思えた。

日本の大河には男の子の名
が付けられている。関東の利
根川は板東太郎、九州の筑後
川が筑紫次郎、そして四国の
吉野川が四国三郎である。四
郎さんは速水史朗だと言いま
うになる。四国三郎は徳島で
造つたから、あとは利根川の
近くで坂東太郎というモニユ
メントを造りたいものである。

臓器移植院内コーディネーター紹介

平成10年に脳死での臓器提供
を可能にする「臓器移植法」が
施行され、脳死下からの臓器提
供が可能になりました。脳死で
の臓器提供ができる病院は国内
におよそ430施設あり、香川
労災病院も脳死での臓器提供施
設病院に認定されています。

臓器提供を円滑に進めるため
に香川県では平成15年、10施設
の病院に院内コーディネーター
が誕生しました。香川労災病院
には医師1名と看護師3名の院
内コーディネーターがいます。

主な活動内容は、県と日本臓
器移植ネットワークとの情報交
換、臓器提供意思が確認された
場合に備え、関連部門との連携
をとりマニュアルを見直し、院
内での体制を整えています。

臓器提供は善意で成り立つも
のであり、臓器提供を希望され
る患者様、
御家族に
対しその
意志をで
きるかぎ
り無駄に
しないよ
うな環境
を整えて
いきたい
です。



る患者様、
御家族に
対しその
意志をで
きるかぎ
り無駄に
しないよ
うな環境
を整えて
いきたい
です。

外 来 診 療 予 定 表

診 療 科	時 間 ・ 診 察 室	月	火	水	木	金	
内 科	午 前	一 診	多田	滝本	多田	木口	滝本
		二 診	荒木	永田	三好	荒木	永田
		三 診	寺西	三好	吉永	寺西	吉永
		四 診	山本	木口	斎藤	山本	斎藤
		五 診	佐藤	水尾			武田
循 環 器 科	午 前	一 診	曾根	渡邊	中川	水尾	曾根
		二 診	中川		佐伯	渡邊(再来のみ)	
	午 後		ペースメーカー(第2,第4)			振動	
外 科	午 前	一 診	鶴野	津村	鶴野	村岡	津村
		二 診	村岡	立本	国土	水村	佐藤・内海(隔週)
	午 後		呼吸器 津村		※乳腺 鶴野・村岡		
整 形 外 科	午 前	一 診	森谷	大茂	横山	前原	井上
		二 診	前原	高田	井上	森谷	横山
		三 診	高田		生熊		大茂
	午 後	リウマチ外来		リウマチ外来		小児外来	
リハビリテーション科	午 前	生熊	田村	高田	生熊	高田	
形 成 外 科	午 前	田中	田中	田中	田中(午後)	田中	
脳 神 経 外 科	午 前	一 診	藤本	吉野	寺井	藤本	吉野
		二 診	寺井	柚木		平下	
メンタルヘルス科	午 前	一 診	小山	小山	小山	井上	小山
		二 診	井上		井上		井上
泌 尿 器 科	午 前	一 診	西	西	水野	西	西
		二 診	水野	倉繁	小武家	倉繁	水野
産 婦 人 科	午 前	一 診	川田	大倉	川田	木下	大倉
		癌 検 診	木下	木下	大倉	川田	木下
	午 後	産科予約検診	大倉		木下		川田
		産後検診				交代制	
眼 科	午 前	一 診	小見山	小見山	小見山	小見山	小見山
		二 診		国土	国土	国土	
耳 鼻 咽 喉 科	午 前	一 診	森下	森下	森下	丸中	森下
		二 診	丸中	丸中	丸中		丸中
	午 後			小児外来			
歯 科 口 腔 外 科	午 前	一 診	森谷	森谷	森谷	森谷	森谷
		二 診			山田		
麻酔科(ペインクリニック)	午 前	一 診	北浦	戸田	北浦	友塚	北浦
		二 診	小田		家野		
ス ト マ 外 来	午 前		佐藤看護師		佐藤看護師		

※乳 腺 外 来 鶴野(第1・3・5木曜日)・村岡(第2・4木曜日)

健 診 部

日帰りドック…………… 1日20名 火、金曜日	海外派遣労働者の健康診断…………… 随時
一般健診…………… 1日20名 月、水、木曜日	特殊健康診断…………… 随時
脳ドック…………… 1日1名 月、火、木曜日	振動障害健康診断…………… 1～3名 金曜日
雇入時の健康診断) …… 1日30名 (隔週) 水曜日	健診車による出張健診…………… 月～金曜日
定期健康診断)	丸亀市住民検診…………… 月～金曜日

※全ての健診は予約が必要です。 ※健診の曜日は変更になることがあります。

●当院は、政府管掌健康保険生活習慣病予防健診事業の指定病院となっており、該当する方は補助を受ける事が出来ます。

●健診の結果、二次検査が必要となった場合、内科系・乳腺外来のみ当院で予約を行っております。

新任医師紹介

呼吸器内科部長 荒木 雅史



平成16年の10月に赴任して1年半ほど経過しました。呼吸器内科を専門としています。

出身は岡山県総社市で岡山大学を卒業後いろいろの病院で仕事をしてきました。四国では愛媛、高知、香川と3県目になります。

呼吸器内科では肺腫・肺気腫・じん肺・気管支喘息・肺炎など

事務当直室は病院休診日及び夜間に、警備員と宿日直事務員とで救急患者様の対応及び受付、待機医師や技師の呼び出し、電話交換業務、面会案内業務、出入管理業務等を行なっております。

従事者全員が、香川労災病院の一員としての自覚と誇りを持って業務できる様、日々精進しておりますが、まだまだ未熟者で、皆様に迷惑をかけていますが、今後も引き続き

がよく知られた病気だと思いますが、肺は直接外気が入る臓器のためいろいろな疾患があり、あまり聞き慣れない病気もたくさんあります。最近話題のアスベストによる病変も肺・胸膜に起こります。

労災病院という性格上たくさん職業性肺疾患の患者様もいらっしゃいます。

仕事柄肺に良くないものを吸った方も多いのですが、自分から肺によくないタバコを吸って肺の病気になる方も多く、私の外来にこられた呼吸器疾患の方にはまず禁煙を勧めています。

事務当直室・防災センター

事務当直室

き、精進に努めますので、宜しくお願致します。

防災センターは中央監視室とともに、総合操作盤に基づき病院内の消防用設備、関連機器を常時集中的に、監視、制御し状況の適切な把握と防災情報の提

新任医師紹介

脳神経外科副部長 平下 浩司



平成7年に岡山大学を卒業し脳神経外科医として第一歩を歩み始めました。岡山大学附属病院、広島市民病院、呉共済病院を経て、平成17年1月より当院にて勤務させていただいております。

供を行なう為の部署です。

また、火災時などには自衛消防隊本部となり、その発生から鎮火までの一連の災害防御活動を適切に行なえるように情報の収集、提供、初期消火、避難誘導の指示、命令を出すところですので、有事に備え日頃から必要な知識を磨き、技能の習熟・訓練に努めておりますので宜しくお願致します。

丸亀にきて、まずはうどん屋巡りを始めました。おいしいうどん屋さんの評判を聞くと土曜・日曜に行っていました。行列

ができていたため諦めて帰ることも多く、あまりまだ行けていません。おいしい情報を教えてください。

ちろん脳血管障害、脳腫瘍、外傷にも携わっております。現在は特に血管内治療に興味をもって取り組んでいます。

生まれは広島で親が転勤族だったためいろいろなところに移り住みましたが、四国に住むのは初めてです。中学・高校は大阪でしたので今でも家でしたこ焼きやお好み焼きを作っておりますが、せっかく香川に来たのでうどんを打てるようになります。どなたかご指導のほどよろしくお願致します。

新任医師紹介

外科医師 小林 正彦



させていただきます。

金沢大学医学部医学科卒業後、平成10年に岡山大学消化器、腫瘍外科(旧第一外科)に入局し、現在まで岡山、岩国、札幌の様々な病院で研修させていただきました。大学では食道疾患を中心に勉強を行ってまいりました。

現在、臨床外科医として、地元の皆様安心して来院していただけるよう、日々精進しております。ご自分の疾患、手術に関してもし不安なことがあれば、お気軽にご相談ください。今後とも、ご教授の程、宜しくお願致します。

はじめまして。この度、平成17年10月より当病院の外科に赴任して参りました。一般外科医として、日々、消化器、乳腺、頸部、胸部の様々な疾患に関わらせて頂いております。簡単に私の経歴について述べさせていただきます。私は地元香川の生まれで、労災病院のすぐ近くの丸亀高校で若い日々を過ご

サプリメント

薬学部 今田 篤

健康食品がブームになっています。

食の西欧化と調理の簡便化が進み、油脂を多く使った食品、高エネルギー食品、加工食品が増え、逆に、野菜、穀物類などの食物繊維を多く含んだ食品やミネラル、ビタミンなどの微量栄養素が多い食品の摂取量が少なくなっています。

サプリメントを摂取する場合、大切なのは、食品とのバランスです。サプリメントで補給しているからいいというのではなく、食品に気を配り、不足しているものをサプリメントで補うことです。

また量も、多くとればいいというものではありません。過剰症の問題が生じます。指示されている用法・用量を守ってください。

さい。

サプリメントを利用する人のからだの状態も重要です。日ごろの食生活や運動などのライフスタイルの見直しも必要です。サプリメントは健康の維持・

病院ボランティア活動とは

ボランティア代表 橋口 邦子

ボランティア活動のスタートから、早いもので満三年になりました。この間、受付機に続き自動精算機の導入に伴い、患者様、スタッフ共不慣れなため、多くの苦情が私達に寄せられました。現在は「一階フロアでの待ち時間が短縮された。」と、声をかけて帰られる人もいます。長年ボランティア活動を行ってきた私でも、病院や施設での

増進に役立つもので、病気を治療するためのものではありません。病気かなと思つたら、早めに受診してください。また、薬と一緒に服用したら薬の効果を強くする、または減弱させるサプリメントがあります。疑問に思われたら医師または薬剤師等にご相談ください。

活動はむずかしく、常に病院側の担当者と話し合いながら、患者様とスタッフとの谷間をうめるべく努力をしてきました。又、必要に応じての研修も行い、ボランティア同士の繋がりを密にし歩を進めています。

患者様より「ボランティアの皆さんが親切に教えてくれるので、安心して通院しています。」の声に対応すべく、コーディネート制度を取り入れ、月曜日から金曜日までを当番制とし、欠員を補足しています。又、「活動に対する心構え」として「しおり」と簡単な「規約」も作成しました。

活動するなかで悩んだ時、ボランティアの専門家から教わったことは、

○職員に出来ないこと、ボランティアだからこそやれる

○スタッフの目の届かない点、気が付かない面をさり気なくカバーする

○近所のおせっかいはおばさんであれ(第三者の立場で冷静に対応する)

○情報が入りやすい(是非を見極める力をつける)

○自己発生的に行い、一歩身を引く活動が望ましい

患者様からの一言に一喜一憂するようでは、ボランティアとして一人前ではないと知りつつ、ねぎらいの言葉をかけられると悪い気がしないのも事実です。ガイドヘルプ時のコミュニケーションに悩みながらも、院内ボランティアをやらせて頂くなかで、多くの人達と出会い、私自身いろいろな面で学ぶことで、明日への活力となっています。

お知らせ

● 労災病院公開健康講座 ●

日時 3月23日(木)

13時30分～15時

場所 労災病院管理棟会議室(3階)

内容 「血液の病気って一体何なんだろう」

講師 内科医師 木口 亨

編集だより

サービス向上委員 新田 聖子

今年の冬は大寒波が日本列島を襲い、各地で大雪の被害が続出しました。「暑さ寒さも彼岸まで。」春はそこまで来ています。しかし、この時期は寒暖の差も激しく、体調の管理には十分に気をつけたいものです。

病院季刊誌「いぶき」の発行も5年目に入りました。地域の皆様に親しまれる広報誌を旨とし、今まで以上に内容を充実したいと考えています。ご意見、ご要望、そしてご感想などお気軽にお寄せください。お待ちしております。



● 労災病院周辺で見られる鳥 ●

ウグイス

主任薬剤師・吉村正則

暖かくなると、生垣から「ホーホケキョ」とウグイスの囀りが聞こえて来る。昔から鳴き声は有名だが、姿を見た人は意外に少ない。茶色がベースの色合いをしているが、目立たないが街中でもよく見られる鳥だ。